

報告第7号

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり提出します。

令和8年9月4日提出

佐野市長 金子 裕

理 由

公益財団法人佐野市民文化振興事業団から、別紙のとおり経営状況を説明する書類が提出されたので報告するものです。

参 考

地方自治法抜粋

(財政状況の公表等)

第243条の3 …省 略…

2 普通地方公共団体の長は、第221条第3項の法人について、毎事業年
(公益財団法人佐野市民文化振興事業団)

度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。

3 …省 略…

地方自治法施行令抜粋

(法人の経営状況等を説明する書類)

第173条の5 地方自治法第243条の3第2項に規定する政令で定めるその経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

2 …省 略…

令和 8 年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画書

公益財団法人佐野市民文化振興事業団予 算 書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 3 1 日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

目 次

////////////////////////////////////

I . 事業計画書 1 ～ 8

II . 予 算 書 9 ～ 1 3

令和 8 年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画
(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

I. 基本方針

社会生活の中で人々は文化的な営みを求めつつあり、当事業団が果たすべき役割は、今日ますます重要なものとなってきた。

そのため、時代に即した文化的支援を積極的に行うべく、令和 3 年度から事業領域を拡大し事業の展開を図り、令和 5 年度から佐野市郷土博物館指定管理業務を開始し、令和 6 年度に事業団設立 30 周年を迎えた。新たな芸術・文化の振興事業に取り組むとともに、博物館指定管理業務では、市民に親しまれる博物館を目指し工夫を凝らした。

令和 8 年度は、佐野市郷土博物館の指定管理業務を引き続き 3 年間受託し、今後もより良い博物館の運営に取り組むとともに、これまでの公益事業を検証しつつ、基本理念である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を目指し、新たな方策も取り入れ、更なる事業展開を積極的に図る。

II. 公益目的事業

【1】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

舞台や演奏会などの鑑賞事業や文化・芸術に関する講座等を実施し、一方で地域の美術館や博物館等と共催するなどして、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供する。また、市民がそれぞれの立場で文化的営みを行い、自己実現を図り、活力のある地域社会の文化的創造に寄与できるよう、セミナーなどを通して活動を支援する事業を実施する。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、身近な場所で芸術・文化を鑑賞できる事業を実施する。

(1) 美術館・博物館コンサート

美術館・博物館等と演奏者をコーディネートし、市民に生の音楽を気軽に鑑賞する機会を提供し、併せて美術品鑑賞や歴史資料見学の機会を提供する。

①美術館コンサート（5月31日）

・場所 東石美術館

②博物館コンサート（10月）※企画展開催時期に実施

・場所 郷土博物館

(2) 短編映画上映会

佐野市出身、在住の映画監督の短編映画作品を上映し鑑賞することで、その魅力を広く市民に伝える。また、監督から映画づくりにかける思いや、佐野にゆかりのある作品などについて語ってもらうことにより、芸術活動をより身近に感じていただく機会とする。

「短編映画上映会（仮）」（時期は調整）

・場所 唐澤山神社

(3) コンサートオンライン配信

開催したコンサート等の模様を当日鑑賞できなかった多くの人にも鑑賞できるよう、後日、ホームページ上でオンライン配信し提供する。

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携しながら、芸術・文化や歴史をテーマに良質な美術品や貴重な資料などを企画展示し、市民の興味関心を高めて郷土への理解や愛着を深める事業を実施する。

(1) 郷土博物館企画展共催

企画展「お殿さまたちと人々の暮らし（仮）」の開催と連携して、一般市民向け展示解説冊子を発行し、郷土の歴史や文化財に関する関心と理解の促進を図る。冊子は市内学校、図書館等へ配布し活用を図る他、一般の企画展見学者や希望者へも頒布する。

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための事業を実施する。

(1) アートプロジェクト

手軽に参加できるセミナーを開催し、自ら美術作品を制作する面白さ、人と一緒に描くことの楽しさを体験し、文化活動へのきっかけづくりとする。

・テーマ「新しい創作体験にふれるアートの時間」（時期・回数は調整）

(2) 佐野再発見専門講座

佐野の歴史や文化・芸術に関するテーマから、地域の魅力や奥深さを再発見する講座を実施する。郷土博物館春のテーマ展と連動し実施する。

・テーマ「縄文時代を知ろう（仮）」（時期・回数は調整）

(3) ミレニアル世代講座

これまでの講座では参加者が少なかった、主にミレニアル世代と言われる20代から40代の方たちを主な対象とした講座を実施し、文化活動や事業団・博物館をより身近に感じてもらうきっかけづくりとする。

- ・テーマ「地元を知り、日常を彩る」(時期・回数は調整)

(4) 子ども佐野文化発見講座

子どもと保護者を対象に、郷土の歴史や伝統文化の魅力を知り、学び、体験する講座を実施する。

- ・テーマ「佐野の伝統文化を体験しよう」(8月)

(5) 文化活動支援事業

事業団友の会による自主的な文化活動の取り組みや、博物館を含めた事業団が進める事業への参画等による市民の文化活動を支援する。

令和8年度は、引き続き友の会と連携して講座やイベントなどを企画運営すると共に、新たな人が文化活動に参加できるきっかけづくりなど、市民による主体的な文化活動の機会を提供する。

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・人材育成を担う団体に対する助成・支援事業

市民の文化的な活動や歴史・伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興・促進を図る事業を実施する。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業を助成する。

2. 地域の伝統文化保存・育成事業助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった無形民俗文化財の保存や担い手の育成を目的とした事業を助成する。

【3】文化財の調査・整備・活用・博物館事業

佐野市内には、後世に伝えるべく史跡や貴重な歴史・文化遺産が多数所在しているため、佐野市が進める史跡整備や歴史・文化遺産の掘り起こしと活用に取り組み、佐野市郷土博物館の指定管理業務を担う利点を有効に活用して、資料収集や調査・研究の成果を市民に広く還元し、本市の歴史・文化的環境の醸成を図る事業を実施する。

1. 唐沢山城跡調査整備受託事業

唐沢山城跡の調査整備受託事業を中心に業務を実施する。国指定史跡が対象のため、文化庁や県教育委員会からの指導を受ける市教育委員会文化財課と綿密に連携して一連の業務を進める。

- (1) 西麓根小屋地区(御台所周辺)について、縄張調査の成果と平成26年度実施の航空レーザ測量図の成果を比較検証し、現地調査(踏査・測量)や記録化作業を行い、縄張図の修正を行う。併せて、調査・作業にあたり必要に応じ竹木の除去等の環境整備についても実施する。
- (2) 西麓根小屋地区における発掘調査について、調査計画の検討を行う。併せて、必要な現地調査等を実施する。
- (3) 踏査により、点在している石垣・石積みが確認された場合は、調査票等にまとめ、報告する。
- (4) 既存の史跡パンフレットについて、最新情報(調査成果等)を反映させたものを作成する。

2. 佐野市郷土博物館指定管理業務

令和8年度から3年間、指定管理者として佐野市から受託する佐野市郷土博物館の管理運営業務について、協定に基づき実施する。

博物館資料の展示・活用については、企画展やテーマ展のみならず常設展にも反映させるなど広く市民へ公開し、講座や講演会なども実施しながら、郷土の歴史・文化に対して興味関心や理解を深める機会を提供する。また、学校教育との連携を図りながら、青少年の学習を積極的に支援する。

令和8年度は新たな指定管理受託期間の初年度にあたり、これまでの取り組みを活かしながら、子どもたちをはじめ様々な方にとって、よりわかりやすく親しみやすい博物館を目指し、工夫・改善を図る。

(1) 資料の収集・保存及び管理

資料の収集、収蔵資料の適正な保存と管理を行う。

- ・重要歴史資料について購入をする。

(2) 資料の展示

季節ごとに企画展等を開催し、常設展示は適宜展示替えを行う。

- ・テーマ展「佐野の遺跡」(4月～6月)
- ・県博地域移動博物館「世界と佐野の昆虫展」及び関連事業
(7月～8月)
- ・企画展「お殿さまたちと人々の暮らし(仮)」及び企画展記念講演会等
(10月～12月)
- ・収蔵資料展「暮らしのうつりかわり～古い道具と昔の暮らし～」
(1月～3月)

(3) 博物館学校利用推進

市内小学校・義務教育学校全校に対し博物館学校利用学習を支援する。

(対象人数 約2,600人)

- ・6年生「歴史学習」(4月～6月)
- ・4年生「きょう土につくした人々」(10月～12月)
- ・3年生「佐野市のうつりかわり」(1月～3月)

(4) 展示解説ボランティア活動

学校利用の学習支援等において、ボランティアによる展示解説の活動を進める。また、ボランティア講座を開催し活動の担い手を育成する。

(5) 各種講座等

一般市民を対象にした講座等を、年間を通して実施する。

①講座

- ・「縄文土器で縄文料理を作ってみよう」(5月)
レプリカの縄文土器や石器を使って縄文料理を作る講座
- ・「石器づくり」(5月)
原石から石器づくりを体験する講座
- ・「古文書入門講座」(6月)
近世文書の読み方を学び、簡単な古文書を読む体験
- ・「藍染講座」(7月)
佐野で作られた藍でハンカチを染める体験をする講座
- ・「まが玉を作ろう」(7月)
まが玉づくりを通じて、古代人の生活に触れる講座
- ・「てん刻講座」(11月)
石材の印作りを体験する講座
- ・「展示解説ボランティア養成講座」(1月～2月)
学校利用等の解説活動の担い手養成を図る講座
- ・フィールドワーク「明治の佐野を歩こう」(時期は調整)
地図を持って佐野の町を歩き、歴史の痕跡を探す。

②「博物館まつり」(10月または11月)

楽しみながら体験でき、郷土の歴史に触れるイベントを開催し、市民等が気軽に博物館に来館できる機会を設ける。

(6) 外部への協力

学芸員実習や職場体験、関係機関等からの協力依頼に対応する。

- ・学芸員実習(養成課程に学ぶ大学生対象)
- ・中学生マイ・チャレンジ事業(市内中学生)
- ・インターンシップ(市内高校生・大学生)

(7) 広報活動

- ・開館日、企画展、講座などを記載した年間パンフレットの配布
- ・来館者向けジュニアガイドの配布
- ・郷土博物館ホームページ、SNS 等による情報提供

その他、公立の登録博物館として必要な調査・研究・情報提供等を行う。

【4】芸術・文化に関する情報収集・提供事業

1. 事業団報の発行

事業団報『かがやき』第32号を9月1日に発行し、事業団の活動内容や業務実績を広報する。(46,000部発行、市内全戸・公共施設等に配布)

2. ホームページ等による情報発信

ホームページやSNSの活用を積極的に進め、事業団活動の紹介や情報、友の会活動の様子等も適宜発信し広くPRする。

【5】各種団体事業への後援

各団体等が実施する事業について、団体からの申請に基づき、適当であると認められた活動の後援する。

後援については名義使用に留まり、資金・物資・人的援助等を行わない。

令和 8 年度 公益財団法人佐野市民文化振興事業団 事業予定一覧

実施	事業名および内容	摘 要
4 月	令和 7 年度事業・決算監査	会場：郷土博物館
	テーマ展「佐野の遺跡」(～6 月)	会場：郷土博物館企画展示室
	博物館学校利用推進：小学 6 年生 「歴史学習」(～6 月)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
5 月	第 1 回通常理事会	会場：郷土博物館
	定時評議員会	会場：郷土博物館
	美術館コンサート	会場：東石美術館
	博物館講座「縄文土器で縄文料理を 作ってみよう」、「石器づくり」	会場：郷土博物館等
6 月	博物館講座「古文書入門講座」	会場：郷土博物館
7 月	第 1 回事業検討委員会	会場：郷土博物館
	県博地域移動博物館「世界と佐野の 昆虫展」及び関連事業(～8 月)	会場：郷土博物館企画展示室等
	博物館講座「藍染講座」、「まが玉を 作ろう」	会場：郷土博物館等
8 月	アートプロジェクト	会場：郷土博物館
	子ども佐野文化発見講座	会場：調整
	経営状況の報告	報告：佐野市議会(9 月議会)
9 月	事業団報『かがやき』32 号発行	配布：市内全戸、公共施設等
10 月	博物館企画展「お殿さまたちと人々 のくらし(仮)」及び記念講演会等 (～12 月)	会場：郷土博物館企画展示室 及び講座室等
	博物館企画展 展示解説冊子発行	配布：市内学校、図書館等
	博物館学校利用推進：小学 4 年生「き ょう土につくした人々」(～12 月)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	博物館まつり	会場：郷土博物館
	博物館コンサート	会場：郷土博物館

11月	第2回事業検討委員会	会場：郷土博物館
	博物館講座「てん刻講座」	会場：郷土博物館
12月		
1月	博物館収蔵資料展「くらしのうつりかわり」(～3月)	会場：郷土博物館企画展示室
	博物館学校利用推進：小学3年生 「佐野市のうつりかわり」(～3月)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	博物館講座「展示解説ボランティア養成講座」(～2月)	会場：郷土博物館
2月	第2回通常理事会	会場：郷土博物館
3月	臨時評議員会	会場：郷土博物館
年間	短編映画上映会	時期：調整
	コンサートオンライン配信	時期：適宜
	佐野再発見専門講座	会場及び時期：調整
	ミレニアル世代講座	会場及び時期：調整
	文化活動支援事業	期間：通年
	文化活動及び伝統文化団体助成	対象：該当団体
	唐沢山城跡調査整備受託事業	場所：唐沢山城跡内等
	博物館講座 フィールドワーク「明治の佐野を歩こう」	時期：調整
	ホームページ、SNS等の情報発信	期間：通年
	各種団体事業への後援	時期：適宜
	＜博物館＞ ・資料収集、保存及び管理 ・資料の展示 ・寄託資料、借用資料の更新 ・調査研究及び調査研究の支援 ・対外協力及び連携 ・広報活動	期間：通年にわたり適宜対応

令和8年度 公益財団法人佐野市民文化振興事業団

予算書(正味財産増減計算ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	7,197	5,354	1,843	債券等運用益
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	3,541	2,981	560	債券等運用益
③ 受取補助金等				
受取出捐金	0	0	0	
④ 寄付金収益				
寄付金収益	0	0	0	
受取寄付金振替額	1,500	6,200	△ 4,700	特定資産指定正味財産取崩
⑤ 事業収益				
公益事業受託収益	43,344	36,513	6,831	博物館指定管理、唐沢山城調査受託
利用料収益	555	435	120	企画展入館、講座参加者負担等
⑥ 雑収益				
受取利息	1	1	0	
雑収益	0	0	0	
事業活動収入計	56,138	51,484	4,654	
(2) 経常費用				
① 事業費支出	53,198	47,436	5,762	
I 芸術・文化鑑賞事業	800	1,045	△ 245	
給料手当	297	496	△ 199	人件費
賞与	79	147	△ 68	人件費
退職給付費用	8	17	△ 9	人件費
福利厚生費	62	100	△ 38	人件費
通信運搬費	1	0	1	切手、発送代等
車両運搬具減価償却費	25	25	0	自動車減価償却
消耗品費	30	20	10	鑑賞事業用品等
修繕費	6	5	1	自動車修繕費等
印刷製本費	21	10	11	鑑賞事業PRチラシ印刷等
燃料費	10	5	5	自動車ガソリン代
光熱水料費	4	0	4	電気、上下水道使用料
賃借料	15	10	5	会計システム借上料等
保険料	5	5	0	自動車保険
諸謝金	205	150	55	出演者謝金
租税公課	5	5	0	自動車税、消費税
システム管理費	10	10	0	ホームページ等管理費
支払手数料	17	40	△ 23	会計・労務コンサル、振込料等
II 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業	919	1,582	△ 663	
給料手当	288	482	△ 194	人件費
賞与	77	142	△ 65	人件費
退職給付費用	8	16	△ 8	人件費
福利厚生費	61	97	△ 36	人件費
通信運搬費	10	10	0	切手、発送代等
車両運搬具減価償却費	25	25	0	自動車減価償却
消耗品費	20	20	0	展示・共催事業用品等
修繕費	5	5	0	自動車修繕費等
印刷製本費	400	760	△ 360	企画展解説パンフ、冊子等
租税公課	5	5	0	自動車税、消費税
支払手数料	20	20	0	会計・労務コンサル、振込料等
III 芸術・文化講座及び人材育成セミナー	901	1,198	△ 297	
給料手当	297	496	△ 199	人件費
賞与	79	147	△ 68	人件費
退職給付費用	8	17	△ 9	人件費
福利厚生費	62	100	△ 38	人件費

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
通信運搬費	12	13	△ 1	切手、発送代等
車両運搬具減価償却費	25	25	0	自動車減価償却
消耗品費	105	80	25	講座、文化活動等用品
修繕費	15	5	10	自動車修繕費等
印刷製本費	53	90	△ 37	講座等PRチラシ、資料作成等
燃料費	4	4	0	自動車ガソリン代
光熱水料費	19	0	19	電気、上下水道使用料
賃借料	45	40	5	会計システム借上料等
保険料	8	5	3	自動車保険
諸謝金	110	140	△ 30	講師謝金
租税公課	11	8	3	自動車税、消費税
システム管理費	3	3	0	ホームページ等管理費
支払手数料	45	25	20	会計・労務コンサル、振込料等
IV 芸術・文化助成、情報提供事業	807	714	93	
給料手当	85	142	△ 57	人件費
賞与	23	42	△ 19	人件費
退職給付費用	2	5	△ 3	人件費
福利厚生費	18	28	△ 10	人件費
通信運搬費	10	10	0	切手、発送代等
車両運搬具減価償却費	12	11	1	自動車減価償却
消耗品費	5	5	0	資料作成用品等
修繕費	2	0	2	自動車修繕費等
印刷製本費	364	289	75	事業団報「かがやき」発行
燃料費	3	3	0	自動車ガソリン代
賃借料	5	5	0	会計システム借上料等
保険料	4	3	1	自動車保険
租税公課	3	2	1	自動車税等
支払助成金	250	150	100	芸術・文化活動助成金
システム管理費	6	6	0	ホームページ等管理費
支払手数料	15	13	2	会計・労務コンサル、振込料等
V 文化財調査・整備・活用・博物館事業	49,771	42,897	6,874	
給料手当	21,153	18,992	2,161	人件費
賞与	6,415	5,545	870	人件費
退職給付費用	539	360	179	人件費
福利厚生費	4,418	3,956	462	人件費
旅費交通費	15	10	5	講師、調査研究、研修等交通費
通信運搬費	335	654	△ 319	電話料、文書発送、テレビ受信料等
車両運搬具減価償却費	178	178	0	自動車減価償却
什器備品減価償却費	69	69	0	地図用展示台減価償却
消耗什器備品費	500	500	0	重要歴史資料購入費
消耗品費	480	415	65	施設管理、事務事業、調査用消耗品
修繕費	125	110	15	施設及び自動車修繕料等
印刷製本費	360	165	195	チラシ、ポスター、パンフ、団報等発行
燃料費	33	35	△ 2	自動車ガソリン代
光熱水料費	5,090	3,850	1,240	電気、上下水道使用料
賃借料	425	261	164	会計システム借上料等
保険料	146	150	△ 4	火災、自動車、損害保険料等
諸謝金	150	130	20	講演会、講座、調査協力等謝礼金
租税公課	2,030	1,711	319	自動車税、印紙税、消費税
委託費	6,721	5,311	1,410	清掃、燻蒸、施設管理保守等
システム管理費	10	10	0	ホームページ等管理費
支払手数料	567	460	107	会計・労務コンサル、振込料等
会議研修費	5	5	0	講師、解説ボランティア飲物代等
雑費	7	20	△ 13	企画展等資料借用手土産代等
②管理費支出	2,940	4,048	△ 1,108	
給料手当	1,188	1,984	△ 796	人件費
賞与	317	586	△ 269	人件費
退職給付費用	34	68	△ 34	人件費

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
福利厚生費	249	399	△ 150	人件費
会議研修費	20	20	0	研修会参加費
交際費	10	10	0	慶弔費等
旅費交通費	10	10	0	公益財団事務研修等
通信運搬費	31	30	1	電話FAX,インターネット,郵送代
車両運搬具減価償却費	241	241	0	自動車減価償却
消耗品費	30	30	0	事務、管理用品等
修繕費	116	80	36	自動車、モニュメント修繕費
印刷製本費	163	125	38	団報『かがやき』発行
燃料費	30	30	0	自動車ガソリン代
光熱水料費	23	0	23	電気、上下水道使用料
賃借料	60	60	0	会計システム借上料等
保険料	59	50	9	自動車保険
租税公課	43	25	18	自動車税等
支払負担金	80	80	0	全国公益法人協会会員費
システム管理費	10	10	0	ホームページ運営費
支払手数料	216	200	16	会計・労務コンサル、振込料等
雑費	10	10	0	副賞代等
経常費用計	56,138	51,484	4,654	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部			0	
経常外収益計		0	0	
経常外費用計		0	0	
当期経常外増減額		0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	27,684	27,684	0	
一般正味財産期末残高	27,684	27,684	0	
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0	
①基本財産運用益			0	
基本財産受取利息	7,197	5,354	1,843	
投資有価証券受取利息	4	4	0	アンダーパー取得1年分償却額
②特定資産運用益			0	
特定資産受取利息	3,541	2,981	560	
投資有価証券受取利息	0	0	0	
③一般正味財産への振替額			0	
一般正味財産への振替額	12,238	14,535	△ 2,297	
当期指定正味財産増減額	△ 1,496	△ 6,196	4,700	
指定正味財産期首残高	866,829	873,025	△ 6,196	
指定正味財産期末残高	865,333	866,829	△ 1,496	
Ⅲ 正味財産期末残高	893,017	894,513	△ 1,496	

(注)

1. 従来、収支予算書は「資金収支方式」により作成していたが、平成24年度から公益法人認定法施行規則第30条に基づき、「正味財産増減計算方式」により作成している。

2. 予算書は、公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)の「正味財産増減計算書」の様式に準じて作成している。

3. 前年度の一般正味財産及び指定正味財産の期末残高並びに当年度の一般正味財産及び指定正味財産の期首・期末残高は、本予算編成時における見込額である。

令和8年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団正味財産増減予算内訳書
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引控除	合計
	(1)文化・芸術振興事業	(2)助成事業	(3)文化財調査・博物館事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	7,197	7,197	0	0	7,197
基本財産受取利息	0	0	0	7,197	7,197	0	0	7,197
特定資産運用益	0	0	0	0	0	3,541	0	3,541
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	3,541	0	3,541
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0
受取出捐金	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	255	0	43,644	0	43,899	0	0	43,899
公益事業受託収益	0	0	43,344	0	43,344	0	0	43,344
利用料収益	255	0	300	0	555	0	0	555
受取寄付金	0	0	0	0	0	1,500	0	1,500
文化振興事業団寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	1,500	0	1,500
雑収益	0	0	0	0	0	1	0	1
受取利息	0	0	0	0	0	1	0	1
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	255	0	43,644	7,197	51,096	5,042	0	56,138
(2)経常費用								
事業費	2,620	807	49,771	0	53,198		0	53,198
給料手当	882	85	21,153	0	22,120			22,120
賞与	235	23	6,415	0	6,673			6,673
退職給付費用	24	2	539	0	565			565
福利厚生費	185	18	4,418	0	4,621			4,621
旅費交通費	0	0	15	0	15			15
通信運搬費	23	10	335	0	368			368
車両運搬具減価償却費	75	12	178	0	265			265
什器備品減価償却費	0	0	69	0	69			69
消耗什器備品費	0	0	500	0	500			500
消耗品費	155	5	480	0	640			640
修繕費	26	2	125	0	153			153
印刷製本費	474	364	360	0	1,198			1,198
燃料費	14	3	33	0	50			50
光熱水料費	23	0	5,090	0	5,113			5,113
賃借料	60	5	425	0	490			490
保険料	13	4	146	0	163			163
諸謝金	315	0	150	0	465			465
租税公課	21	3	2,030	0	2,054			2,054
支払助成金	0	250	0	0	250			250
委託費	0	0	6,721	0	6,721			6,721
システム管理費	13	6	10	0	29			29
支払手数料	82	15	567	0	664			664
会議研修費	0	0	5	0	5			5
雑費	0	0	7	0	7			7

管理費						2,940	0	2,940
給料手当						1,188		1,188
賞与						317		317
退職給付費用						34		34
福利厚生費						249		249
会議研修費						20		20
交際費						10		10
旅費交通費						10		10
通信運搬費						31		31
車両運搬具減価償却費						241		241
消耗品費						30		30
修繕費						116		116
印刷製本費						163		163
燃料費						30		30
光熱水料費						23		23
賃借料						60		60
保険料						59		59
租税公課						43		43
支払負担金						80		80
システム管理費						10		10
支払手数料						216		216
雑費						10		10
経常費用計	2,620	807	49,771	0	53,198	2,940	0	56,138
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,365	△ 807	△ 6,127	7,197	△ 2,102	2,102	0	0
基本財産評価損益等					0	0		0
特定資産評価損益等					0	0		0
投資有価証券評価損益等					0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,365	△ 807	△ 6,127	7,197	△ 2,102	2,102	0	0
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,290	796	5,881	△ 7,197	1,770	△ 1,770		0
当期一般正味財産増減額	△ 75	△ 11	△ 246	0	△ 332	332	0	0
一般正味財産期首残高	20,303	45	1,140	0	21,488	6,196		27,684
一般正味財産期末残高	20,228	34	894	0	21,156	6,528	0	27,684
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								
基本財産受取利息(指定)				7,197	7,197	0		7,197
投資有価証券受取利息(補助金) (アンダー償却)				4	4			4
基本財産運用益計	0	0	0	7,201	7,201	0		7,201
特定資産運用益								
特定資産受取利息					0	3,541		3,541
投資有価証券受取利息 (アンダー償却)					0	0		0
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	3,541		3,541
一般正味財産への振替額	0	0	0	7,197	7,197	5,041		12,238
当期指定正味財産増減額	0	0	0	4	4	△ 1,500	0	△ 1,496
指定正味財産期首残高	0	0	0	503,696	503,696	363,133		866,829
指定正味財産期末残高	0	0	0	503,700	503,700	361,633	0	865,333
III 正味財産期末残高	20,228	34	894	503,700	524,856	368,161	0	893,017

令和 7 年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告

公益財団法人佐野市民文化振興事業団決算報告

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

目 次

////////////////////////////////////

I. 事業報告及び附属明細書		1 ～ 1 2
II. 貸借対照表及び内訳表		1 3 ・ 1 4
III. 正味財産増減計算書及び内訳表		1 5 ～ 1 8
IV. 財務諸表に対する注記		1 9 ～ 2 2
V. 附属明細書		2 3
VI. 財産目録		2 4
VII. 監査報告書		2 5

令和 7 年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告
(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

I. 事業概要

令和7年度は、基本理念である「すべての市民が優れた文化的環境のもとで、
うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」に向け、鑑賞事業、講座
やセミナーなど、時代に即した芸術・文化の振興事業を展開した。

受託事業としては、佐野市郷土博物館指定管理業務と唐沢山城跡調査整備事業を担い、地域の歴史や文化財の調査を進め、その成果を確認された資料とともに博物館で展示公開した。

その他、事業団友の会と連携し、事業団主催事業への参画や自主的な活動支援など、市民との協働に取り組む一方、事業団や博物館の活動を広く伝えるため、ホームページやＳＮＳの活用を積極的に進めた。

II. 公益目的事業

【１】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

演奏会などの鑑賞事業や芸術・文化に関する講座等を地域の美術館や博物館等と連携して開催し、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供した。

また、市民がそれぞれの立場で文化的営みを行い、自己実現を図り、活力のある地域社会の文化的創成に寄与できるよう、講座等を通して活動を支援する事業を実施した。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、身近な場所で芸術・文化を鑑賞できる事業を実施した。

(1) 美術館・博物館コンサート

博物館と演奏者をコーディネートし、市民に生の音楽を気軽に鑑賞する機会とともに、文化・歴史資料を鑑賞できる事業を実施した。

① 東石美術館グランドオープン記念コンサート

- ・内 容 マリンバ&パーカッション、ハープ、フルートのアンサンブルコンサート
- ・期 日 令和7年5月31日（土）
- ・場 所 東石美術館 ギャラリー3
- ・出演者 マリンバ&パーカッション 澤田 奏恵 氏
ハープ 高久 美穂 氏

フルート 西園 文美 氏

・参加者 81人

② 博物館コンサート at 佐野市郷土博物館

・内 容 ヴァイオリンとギターのアンサンブルコンサート

・期 日 令和7年12月6日（土）

・場 所 郷土博物館 1階展示ホール

・出演者 ヴァイオリン 渡邊 弘子 氏

ギター 渡邊 洋邦 氏

・参加者 50人

（2）コンサートオンライン配信

開催したコンサート等の模様を編集し、オンライン配信をして、もう一度当日の雰囲気を感じたい人たちや来場できなかった方たちに鑑賞できる機会を提供した。

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携しながら、佐野の芸術・文化や歴史をテーマに、良質な美術品や貴重な資料などを企画展示し、市民の興味関心を高めて郷土への理解や愛着を深める事業を実施した。

（1）郷土博物館企画展共催

郷土博物館指定管理業務とは別に、秋の企画展の理解を深めるため、市民向け冊子を作成し発行した。冊子は、市内学校、図書館、公民館図書室での活用を図るとともに、企画展見学者や一般の希望者へ提供し、郷土の歴史や文化財に関する理解の推進を図った。

①春の展示「佐野の遺跡展」

・期 間 令和7年4月26日（土）～6月29日（日）

・共催内容 展示解説パンフレットの作成 700部

②秋の企画展「タイムトラベル！古写真と地図でたどる安蘇の150年」

・期 間 令和7年10月4日（土）～12月7日（日）

・共催内容 展示解説パンフレットの作成 500部

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための事業を実施した。

(1) アートプロジェクト

自ら美術作品を制作する面白さや人と一緒に描く楽しさを体験し、文化活動のきっかけづくりとして実施した。

- ・テーマ アートプロジェクト at 佐野市郷土博物館
 ～みんなで自由に楽しく描こう～
- ・期 日 令和7年8月2日（土）、8月9日（土） 計2回
- ・場 所 郷土博物館
- ・講 師 大川 みゆき 氏
- ・参加者 17人

(2) 佐野再発見専門講座

佐野の歴史や芸術・文化に関するテーマから、地域の魅力や奥深さを再発見する講座を実施した。令和7年度は郷土博物館の秋の企画展と連動したテーマで実施した。

- ・テーマ 「野州麻を知る」
- ・期 日 令和7年10月25日（土）、11月1日（土）、
 11月8日（土） 計3回
- ・場 所 郷土博物館
- ・講 師 岩瀬 希望 氏
- ・参加者 23人

(3) ミレニアル世代講座

これまでの講座では参加者が少なかったミレニアル世代と言われる20代から40代の方たちを主な対象に、気軽に文化に触れる機会を提供する講座を実施した。

- ・テーマ 「大人の感性を磨くーBARと音楽に溶ける夜」
- ・期 日 令和7年9月18日（木）
- ・場 所 WINE & BAR CHOUETTE
- ・講 師 茂木 龍児 氏
 新里 陽平 氏（ギター演奏）
 関 美樹 氏（歌唱）
- ・参加者 10人

(4) 子ども佐野文化発見講座

子どもと保護者を対象に、郷土の歴史や伝統文化の魅力を知り、学び、体験する講座を実施した。

- ・テーマ 「佐野の郷土文化 武者絵のぼり体験」
- ・期 日 令和7年8月24日（日）
- ・場 所 郷土博物館

- ・講 師 長竹 敏夫 氏
- ・参加者 12人

(5) 文化活動支援事業

事業団友の会による自主的な文化活動の取り組みや、博物館を含めた事業団が進める事業への参画等による市民の文化活動を支援した。

令和7年度は、引き続き友の会と連携して講座やイベントなどを企画運営すると共に、新たな人が文化活動に参加できるきっかけづくりなど、市民による主体的な文化活動の機会を提供した。

① 事業団友の会

ア. イベント企画運営グループ「S・Cフラワーズ」

- ・登 録 者 13人
- ・活動内容 文化活動の企画運営、事業団事業への参画（コンサートや講座、イベント） 等

イ. 佐野の文化探求グループ「b e 文活フレンズ」

- ・登 録 者 17人
- ・活動内容 市内フィールドワーク、地域文化の体験 等

② 友の会企画

ア. 田中晴菜監督作品上映記念アフタートークショー

- ・期 日 令和7年4月20日（日）
- ・場 所 郷土博物館
- ・講 師 田中 晴菜 氏
- ・参加者 20人

イ. 春の味覚 たけのこ掘り&料理

- ・期 日 令和7年6月14日（土）
- ・場 所 栃本公園付近竹林、田沼中央公民館調理実習室
- ・講 師 宮澤 優子 氏
- ・参加者 20人

ウ. 佐野のソウルフード いもフライ料理教室

- ・期 日 令和8年1月31日（土）
- ・場 所 城北地区公民館実習室
- ・参加者 20人

エ. 友の会交流会

- ・期 日 令和8年3月7日（土）

- ・場 所 郷土博物館
- ・参加者 12人

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・人材育成を担う団体に対する助成・支援事業

市民の文化的活動や歴史や伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興・促進を図る事業を実施した。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし個性豊かな地域文化を創造する事業を対象に、団報やホームページ等で募集を行った。

その結果、要件に該当する応募が1件あったため、事業検討委員会で審査し理事会に報告され、令和8年度の助成金交付が決定した。

[交付申請の内容]

- ・団体名 混声合唱団「コール・エッコ」
- ・事業名 第35回記念定期演奏会
- ・助成額 150,000円
- ・実施時期 令和8年11月

2. 地域の伝統文化保存・育成事業助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった伝統文化の保存や民俗文化財の継承、団体の育成を目的とした事業を対象に、団報やホームページ等で募集を行ったが、助成要件に該当する応募はなかった。

【3】文化財の調査・整備・活用・博物館事業

佐野市内には、後世に伝えるべく史跡や貴重な歴史・文化遺産が多数所在しているため、佐野市が進める史跡整備や歴史・文化遺産の掘り起こしと活用に取り組んだ。

また、佐野市郷土博物館の指定管理業務を担う利点を有効に活用して、資料収集や調査・研究の成果を市民に広く還元し、本市の歴史・文化的環境の醸成を図った。博物館事業においては、学校教育との連携を図り、青少年の学習を積極的に支援した。

1. 唐沢山城跡調査整備受託事業

国指定史跡が対象のため、文化庁や県教育委員会からの指導を受ける市教育委員会文化財課と連携して進めた。

さらに、史跡の調査・整備とともに、その活用を図る上では歴史的背景を探る取り組みが必要なため、唐澤山神社や佐野家に伝わる史料調査を行った。

また、その結果の一部を博物館企画展で展示公開した。

(1) 令和7年度史跡唐沢山城跡保存整備に伴う調査業務

- ・ 履行期間 令和7年6月6日(金)～令和8年3月5日(木)
- ・ 場 所 唐沢山城跡内(富士町・栃本町)、郷土博物館 等
- ・ 実施業務 史・資料調査、図面及び報告書作成に伴う現地確認・調査、定期指導、個別指導

- ① 西麓根小屋地区について、史跡の保存整備を進めるために必要な現地調査(踏査・測量)や記録化作業を実施し、縄張図の修正を行った。あわせて、調査にあたり必要な竹木の除去等の環境整備等についても実施した。
- ② 隼人屋敷内の遺構の現況を把握するための確認調査を実施し、その調査結果のとりまとめを行った。
- ③ 石垣総合調査報告書作成に必要な現地での測量や記録化、並びに史資料調査を実施した。また、令和10年度に刊行を予定する報告書の内容・構成案を作成した。
- ④ これまでの史資料調査の成果を反映させた、最新版の史跡パンフレットを作成した。

2. 佐野市郷土博物館指定管理業務

佐野市郷土博物館の管理運営を佐野市から受託し、協定に基づき業務を実施した。博物館資料の展示・活用については、企画展やテーマ展のみならず常設展にも反映させるなど広く市民へ公開し、講座や講演会なども実施しながら、郷土の歴史・文化に対して興味関心や理解を深める機会を提供した。

また、学校教育との連携を図りながら青少年の学習を積極的に支援した。

[入館者数]

月	個人 (人)	団体		入館者総数 (人)	1日平均 (人)	開催日数 (日)
		組	人数			
4	601	4	50	651	26.0	25
5	544	10	327	871	32.3	27
6	2,098	18	778	2,876	115.0	25
7	1,006	7	117	1,123	53.5	21
8	1,909	8	102	2,011	74.5	27
9	798	6	132	930	40.4	23
10	1,683	13	306	1,989	73.7	27
11	576	9	467	1,043	40.1	26
12	787	5	259	1,046	43.6	24
1	1,429	13	551	1,980	82.5	24
2	1,255	14	621	1,876	81.6	23
3	861	4	52	913	36.5	25
合計	13,547	111	3,762	17,309	58.3	297

(1) 資料の収集・保存及び管理

資料の収集、収蔵資料の適正な保存と管理を行った。

また、資料の寄贈・寄託及び購入等に関し、それらの可否判断を佐野市教育委員会と連携して適切に検討するため、関係職員による資料評価検討委員会を設置した。

[第1回佐野市郷土博物館資料評価検討委員会]

- ・期 日 令和8年3月10日(火)
- ・場 所 佐野市郷土博物館
- ・内 容 資料購入(1件)及び寄贈資料(11件)についての評価検討

(2) 資料の展示

季節ごとに企画展等を開催した。常設展示は、田中正造展示室の貴重な資料を適切に保護するため、展示替えをするとともに、適宜、館内の展示を更新した。

① 春の展示「佐野の遺跡展」

- ・期 間 令和7年4月26日(土)～6月29日(日)開催55日
- ・入館者 3,821人
- ・記念講演会 「縄文時代の佐野市」
期 日：令和7年6月8日(日)
場 所：郷土博物館
講 師：塚本 師也 氏
参加者：57人

② テーマ展 栃木県立博物館地域移動博物館「夏休み 動物わくわく骨探検!～ホネから見える動物のくらし～」

※栃木県立博物館による市町連携事業

- ・期 間 令和7年7月26日(土)～8月31日(日)開催32日
- ・入館者 2,361人

③ ミニ展示 「戦後80年 戦争と安蘇のくらし」

- ・期 間 令和7年7月26日(土)～8月31日(日)開催32日
- ・入館者 2,361人

④ 第79回企画展「タイムトラベル!古写真と地図でたどる安蘇の150年」

- ・期 間 令和7年10月4日(土)～12月7日(日)開催56日
- ・入館者 3,307人

- ・記念講演会 「明治文人の両毛旅行―唐沢山で茸狩り!」

期 日：令和7年10月26日（日）

場 所：郷土博物館

講 師：出口 智之 氏

参加者：55人

⑤ 収蔵資料展「くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～」

・期 間 令和8年1月4日（日）～3月1日（日）開催48日

・入館者 3,881人

⑥ 特別展示 「大日本帝国憲法発布式と田中正造」

・期 間 令和8年2月3日（火）～3月1日（日）開催23日

・入館者 1,847人

（3）博物館学校利用推進

市内小学校・義務教育学校全校に対し博物館学校利用学習を支援した。

・6年生 「歴史学習」（5月～6月） 865人

・4年生 「きょう土につくした人々」（10月～12月）812人

・3年生 「くらしのうつりかわり」（1月～2月） 841人

計 2,518人

※市外小学校の博物館利用 全6校 計257人

（4）展示解説ボランティア活動

学校利用の学習支援等において、ボランティアによる展示解説の活動を進めた。

また、ボランティア講座を開催し、活動の担い手を育成した他、活動者に対する研修等を実施した。

（5）各種講座

① 講座

一般市民を対象とした講座を実施した。

講座名	期日	対象	参加者数
縄文ペンダントを作ろう （春の企画展関連）	5月11日（日）	一般市民	14人
黒曜石で石器を作ろう （春の企画展関連）	6月1日（日）	一般市民	16人
古文書入門講座	6月7日・14日 ・21日・28日 （各土曜日）	一般市民	7人
佐野市の民話を楽しもう	6月15日（日）	一般市民	17人

「夏休み動物ホネ教室」 (県立博物館地域移動博物館関連)	7月26日(土)	一般市民	17人
立体きりおり紙講座	7月19日(土)	小学生以上	16人
まが玉を作ろう	8月3日(日)	一般市民	18人
「野州麻を知る」(秋の企画展・佐野再発見講座関連)	10月25日・11月1日・11月8日 (各土曜日)	一般市民	23人
フィールドワーク「明治の佐野を歩こう」(秋の企画展関連)	11月9日(日)	一般市民	16人
石材の印作り (てん刻) 講座	11月16日(日)	一般市民	14人
展示解説ボランティア養成講座	令和8年1月15日(木)・2月18日(水)・27日(金)	一般市民	2人

②『博物館まつり』の開催

博物館での体験や学びを通して、博物館への理解や利用を促すための機会として開催した。

- ・期 日 令和7年10月19日(日)
- ・場 所 郷土博物館
- ・内 容 体験コーナーや展示解説など
- ・入館者 735人

※ボランティアの協力を得ながら運営をした。

(6) 外部への協力

学芸員実習や職場体験、関係機関等からの協力依頼に対応した。

- ・学芸員実習(養成課程に学ぶ大学生対象) 3人
- ・中学生マイ・チャレンジ 2人
- ・学習機会の支援(火おこし体験) 7人(1施設)

(7) その他

- ・「博物館ジュニアガイド」及び「博物館年間スケジュールパンフレット」を作成し配布した。
- ・博物館の情報発信にSNSの活用を拡大した。
- ・人形劇「秀郷のむかで退治」の上演を田沼小学校で実施した。
[令和7年12月19日(金)、対象者数140人(1～3年生)]
- ・公立の登録博物館として必要な調査・研究・情報提供等を行った。

【４】芸術・文化に関する情報収集・提供事業

事業団報やホームページなどを活用し、芸術・文化に関する情報収集や情報提供を実施した。

１．事業団報『かがやき』３１号の発行

事業団の広報紙を市内全戸に配布すると共に、市内公共施設等の情報発信コーナーにも置いて来場者に提供した。

- ・体 裁 A４版 ８ページ
- ・部 数 ４６，０００部
- ・発行日 令和７年９月１日

２．広報紙・インターネット等の活用

博物館を含めた事業団の事業ＰＲのために、ホームページ、市の広報紙や新聞、ケーブルテレビ等の他、ＳＮＳによる充実を図り、事業・イベント、博物館の魅力などの情報を随時発信した。

- ・ＳＮＳの活用 X、インスタグラム、ノート、LINE

【５】各種団体事業への後援

各団体が実施する各種事業のうち、文化振興に関する事業について後援依頼の申請を受け、当財団がその企画の趣旨に賛同した８事業に対し、後援名義の使用を承諾した。

- ・佐野市民文化祭演劇部門さの演劇塾第１５回公演「卵のなかの白雪姫」
- ・佐野ユネスコ協会創立５０周年記念事業文化講演会
- ・第１６回さのクラシックコンサート
- ・第１２８回日本水彩画会安足支部展
- ・佐野市民合唱団“Voice”第２４回定期演奏会
- ・第１２９回日本水彩画会安足支部展
- ・第１３回R２９３美術展 ～地域に美術の種をまく～
- ・春の藤原秀郷祭り

【６】理事会、評議員会等に関する事項

１．理事会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
第１回 通常	令和７年 ５月１６日 (金)	１ 報告第１号 職務の執行状況の報告について ２ 議案第１号 任期満了に伴う顧問の選任について ３ 議案第２号 令和６年度事業報告について ４ 議案第３号 令和６年度決算報告について ５ 議案第４号 令和７年度定時評議員会の招集について	— 可決 可決 可決 可決
第２回 通常	令和８年 ２月１３日 (金)	１ 報告第１号 職務の執行状況の報告について ２ 報告第２号 佐野市郷土博物館指定管理者の指定について	— —

		3 報告第3号 令和8年度芸術・文化活動助成金交付事業の申請に係る事業検討委員会からの答申について	—
		4 議案第1号 令和8年度事業計画について	可決
		5 議案第2号 令和7年度収支予算について	可決
		6 議案第3号 芸術・文化活動助成金交付要綱の改訂について	可決
		7 議案第4号 理事の職員任用について	可決
		8 議案第5号 令和7年度臨時評議員会の招集について	可決

2. 評議員会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
定時	令和7年 6月19日 (木)	1 報告第1号 任期満了に伴う顧問の選任について 2 議案第1号 令和6年度事業報告について 3 議案第2号 令和6年度決算報告について	— 可決 可決
臨時	令和8年 3月6日 (金)	1 報告第1号 佐野市郷土博物館指定管理者の指定について 2 報告第2号 令和8年度芸術・文化活動助成金交付事業の申請に係る事業検討委員会からの答申について 3 報告第3号 令和8年度事業計画について 4 報告第4号 令和8年度収支予算について 5 報告第5号 芸術・文化活動助成金交付要綱の改訂について 6 報告第6号 理事の職員任用について	— — — — — —

3. 事業検討委員会

令和4年5月13日の理事会で設置された事業検討委員会において、事業団における事業推進について、令和7年度も検討を行った。

〔会議概要〕

区分	開催日	議事等
第1回	令和7年 7月16日(水)	1 団報『かがやき』について 2 意見交換
第2回	11月19日 (水)	1 令和8年度芸術・文化活動助成事業の審査について 2 令和8年度の事業について 3 今期を振り返っての意見交換

【7】運営体制の充実を図るための取り組み

令和7年4月1日からの公益法人制度の改正については、職員の理解を図るとともに、定時評議員会にて評議員及び役員に向け、ガバナンスや認定法等に関する説明を行った。

【8】情報公開に関する事項 無し。

附属明細書

令和7年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。

貸借対照表
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,850,019	7,648,949	2,201,070
貯蔵品	663,334	654,079	9,255
前払金	0	78,830	△ 78,830
前払費用	0	79,720	△ 79,720
流動資産合計	10,513,353	8,461,578	2,051,775
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	499,946,000	499,942,400	3,600
定期預金(基)(指定)	3,488,429	3,488,429	0
基本財産合計	503,434,429	503,430,829	3,600
(2) 特定資産			
投資有価証券	350,000,000	300,000,000	50,000,000
特別事業基金(特)	43,368,596	93,368,596	△ 50,000,000
特定資産合計	393,368,596	393,368,596	0
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1,971,514	2,476,422	△ 504,908
什器備品	442,407	510,469	△ 68,062
美術品	20,010,000	20,010,000	0
保証金	11,990	11,990	0
その他固定資産合計	22,435,911	23,008,881	△ 572,970
固定資産合計	919,238,936	919,808,306	△ 569,370
資産合計	929,752,289	928,269,884	1,482,405
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	735,560	767,739	△ 32,179
未払消費税等	1,709,700		1,709,700
預り金	464,612	404,392	60,220
流動負債合計	2,909,872	1,172,131	1,737,741
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	2,909,872	1,172,131	1,737,741
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	503,434,429	503,430,829	3,600
寄付金	393,057,821	393,057,821	0
指定正味財産合計	896,492,250	896,488,650	3,600
(うち基本財産への充当額)	(503,434,429)	(503,430,829)	(3,600)
(うち特定資産への充当額)	(393,057,821)	(393,057,821)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	30,350,167	30,609,103	△ 258,936
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(310,775)	(310,775)	(0)
正味財産合計	926,842,417	927,097,753	△ 255,336
負債及び正味財産合計	929,752,289	928,269,884	1,482,405

貸借対照表内訳表
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	2,443,325	7,406,694		9,850,019
貯蔵品	663,334			663,334
流動資産合計	3,106,659	7,406,694		10,513,353
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	499,946,000	0		499,946,000
定期預金(基)(指定)	3,488,429	0		3,488,429
基本財産合計	503,434,429	0		503,434,429
(2) 特定資産				
投資有価証券	0	350,000,000		350,000,000
特別事業基金(特)	0	43,368,596		43,368,596
特定資産合計	0	393,368,596		393,368,596
(3) その他固定資産				
車両運搬具	1,031,102	940,412		1,971,514
什器備品	442,407			442,407
美術品	20,010,000	0		20,010,000
保証金	6,271	5,719		11,990
その他固定資産合計	21,489,780	946,131		22,435,911
固定資産合計	524,924,209	394,314,727		919,238,936
資産合計	528,030,868	401,721,421		929,752,289
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	689,235	46,325		735,560
未払消費税等	1,709,700			1,709,700
預り金	0	464,612		464,612
流動負債合計	2,398,935	510,937		2,909,872
2. 固定負債				
固定負債合計				
負債合計	2,398,935	510,937		2,909,872
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	503,434,429	0		503,434,429
寄付金	0	393,057,821		393,057,821
指定正味財産合計	503,434,429	393,057,821		896,492,250
(うち基本財産への充当額)	(503,434,429)	(0)		(503,434,429)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(393,057,821)		(393,057,821)
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(310,775)		(310,775)
正味財産合計	525,536,790	401,305,627		926,842,417
負債及び正味財産合計	527,935,725	401,816,564		929,752,289

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,280,913	5,350,069	930,844
基本財産運用益計	6,280,913	5,350,069	930,844
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,239,289	2,881,896	357,393
特定資産運用益計	3,239,289	2,881,896	357,393
事業収益			
公益事業受託収益	36,511,160	36,081,130	430,030
利用料収益	1,438,730	1,791,450	△ 352,720
事業収益計	37,949,890	37,872,580	77,310
雑収益			
受取利息	21,261	5,333	15,928
雑収益	23,300	41,700	△ 18,400
雑収益計	44,561	47,033	△ 2,472
経常収益計	47,514,653	46,151,578	1,363,075
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	19,261,343	20,700,882	△ 1,439,539
賞与	5,744,572	5,978,480	△ 233,908
退職給付費用	412,800	438,000	△ 25,200
福利厚生費	3,946,809	4,365,935	△ 419,126
旅費交通費	19,160		19,160
通信運搬費	337,964	343,385	△ 5,421
車両運搬具減価償却費	264,067	264,067	0
什器備品減価償却費	68,062	34,031	34,031
消耗品費	554,948	1,345,362	△ 790,414
修繕費	96,619	52,488	44,131
印刷製本費	1,041,920	727,212	314,708
燃料費	37,994	31,993	6,001
光熱水料費	3,636,959	3,615,696	21,263
賃借料	332,998	325,828	7,170
保険料	148,485	158,294	△ 9,809
諸謝金	335,000	580,090	△ 245,090
租税公課	1,730,328	21,828	1,708,500
支払負担金		16,600	△ 16,600
支払助成金		50,000	△ 50,000
委託費	5,461,084	5,379,629	81,455
システム管理費	8,250	8,250	0
支払手数料	525,861	530,132	△ 4,271
会議研修費(事業)	8,428	1,600	6,828
事業費計	43,973,651	44,969,782	△ 996,131

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
給料手当	1,933,003	832,215	1,100,788
賞与	578,036	128,796	449,240
退職給付費用	67,200	42,000	25,200
福利厚生費	417,726	214,920	202,806
会議研修費	5,692	4,320	1,372
通信運搬費	19,367	20,736	△ 1,369
車両運搬具減価償却費	240,841	240,841	0
消耗品費	31,458	12,761	18,697
修繕費	16,247		16,247
印刷製本費	113,785	104,995	8,790
燃料費	34,651	29,180	5,471
賃借料	48,972	48,972	0
保険料	43,445	37,670	5,775
租税公課	18,572	19,622	△ 1,050
支払負担金	72,000	72,000	0
支払手数料	151,193	145,123	6,070
システム管理費	2,750	2,750	0
雑費	5,000	5,000	0
管理費計	3,799,938	1,961,901	1,838,037
経常費用計	47,773,589	46,931,683	841,906
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 258,936	△ 780,105	521,169
当期経常増減額	△ 258,936	△ 780,105	521,169
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 258,936	△ 780,105	521,169
一般正味財産期首残高	30,609,103	31,389,208	△ 780,105
一般正味財産期末残高	30,350,167	30,609,103	△ 258,936
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息(指)	6,280,913	5,350,069	930,844
投資有価証券受取利息(補助金)	3,600	3,600	0
基本財産運用益計	6,284,513	5,353,669	930,844
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,239,289	2,881,871	357,418
特定資産運用益計	3,239,289	2,881,871	357,418
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	9,520,202	8,231,940	1,288,262
当期指定正味財産増減額	3,600	3,600	0
指定正味財産期首残高	896,488,650	896,485,050	3,600
指定正味財産期末残高	896,492,250	896,488,650	3,600
Ⅲ 正味財産期末残高	926,842,417	927,097,753	△ 255,336

正味財産増減計算書内訳表
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引等 消去	合計
	公1 (鑑賞・企画展共催事業・講座)	公2 (助成支援事業)	公3 (文化財調査・整備・活用事業)	共通			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益				6,280,913			6,280,913
基本財産受取利息				6,280,913			6,280,913
基本財産運用益計							
特定資産運用益							
特定資産受取利息					3,239,289		3,239,289
特定資産運用益計					3,239,289		3,239,289
事業収益							
公益事業受託収益			36,511,160				36,511,160
利用料収益	837,270		601,460				1,438,730
事業収益計	837,270		37,112,620				37,949,890
雑収益							
受取利息					21,261		21,261
雑収益			23,300				23,300
雑収益計			23,300				23,300
経常収益計	837,270		37,135,920	6,280,913	21,261		44,561
(2) 経常費用					3,260,550		47,514,653
事業費							
給料手当	1,435,949	138,070	17,687,324				19,261,343
賞与	429,398	41,288	5,273,886				5,744,572
退職給付費用	49,920	4,800	358,080				412,800
福利厚生費	310,312	29,838	3,606,659				3,946,809
旅費交通費			19,160				19,160
通信運搬費	14,385	1,383	322,196				337,964
車両運搬具減価償却費	74,726	11,613	177,728				264,067
什器備品減価償却費			68,062				68,062
消耗品費	106,952	1,517	446,479				554,948
修繕費	5,041	783	90,795				96,619
印刷製本費	566,448	228,579	246,893				1,041,920
燃料費	10,752	1,672	25,570				37,994
光熱水料費			3,636,959				3,636,959
賃借料	42,154	3,504	287,340				332,998
保険料	13,480	2,095	132,910				148,485
諸謝金	251,000		84,000				335,000
租税公課	42,941	828	1,686,559				1,730,328
委託費			5,461,084				5,461,084
システム管理費	1,375	5,500	1,375				8,250
支払手数料	72,273	6,431	447,157				525,861
会議研修費(事業)	1,019	98	7,311				8,428
事業費計	3,428,125	477,999	40,067,527				43,973,651

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引等 消去	合計
	公1 (鑑賞・企画展共催事業・講座)	公2 (助成支援事業)	公3 (文化財調査・整備・活用事業)	共通			
管理費							
給料手当					1,933,003		1,933,003
賞与					578,036		578,036
退職給付費用					67,200		67,200
福利厚生費					417,726		417,726
会議研修費					5,692		5,692
通信運搬費					19,367		19,367
車両運搬具減価償却費					240,841		240,841
消耗品費					31,458		31,458
修繕費					16,247		16,247
印刷製本費					113,785		113,785
燃料費					34,651		34,651
賃借料					48,972		48,972
保険料					43,445		43,445
租税公課					18,572		18,572
支払負担金					72,000		72,000
支払手数料					151,193		151,193
システム管理費					2,750		2,750
雑費					5,000		5,000
管理費計					3,799,938		3,799,938
経常費用計							
評価増益等調整前当期経常増減額	3,428,125	477,999	40,067,527		43,973,651		47,773,589
当期経常増減額	△ 2,590,855	△ 477,999	△ 2,931,607	6,280,913	△ 539,388		△ 258,936
2. 経常外増減の部	△ 2,590,855	△ 477,999	△ 2,931,607	6,280,913	△ 539,388		△ 258,936
(1) 経常外収益							
経常外収益計							
(2) 経常外費用							
経常外費用計							
当期経常外増減額							
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,590,855	△ 477,999	△ 2,931,607	6,280,913	△ 539,388		△ 258,936
他会計振替額	2,516,129	466,386	2,685,817	△ 5,668,332	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 74,726	△ 11,613	△ 245,790	612,581	△ 539,388		△ 258,936
一般正味財産期首残高	20,378,286	57,233	1,386,390	0	21,821,909		30,609,103
一般正味財産期末残高	20,303,560	45,620	1,140,600	612,581	8,247,806		30,350,167
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益							
基本財産受取利息(指)				6,280,913	6,280,913		6,280,913
投資有価証券受取利息(補助金)				3,600	3,600		3,600
基本財産運用益計				6,284,513	6,284,513		6,284,513
特定資産運用益							
特定資産受取利息							
特定資産運用益計					3,239,289		3,239,289
一般正味財産への振替額					3,239,289		3,239,289
当期指定正味財産増減額				6,280,913	3,239,289		9,520,202
指定正味財産期首残高				3,600	0		3,600
指定正味財産期末残高				503,430,829	393,057,821		896,488,650
指定正味財産期末残高				503,434,429	393,057,821		896,492,250
III 正味財産期末残高	20,303,560	45,620	1,140,600	504,047,010	401,305,627		926,842,417

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

公益法人会計基準

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正、
平成28年3月22日改正 内閣府公益認定等委員会)

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。ただし、美術品については減価償却を行わない。

(4) 引当金の計上基準

該当なし。

(5) リース取引の処理方法

該当なし。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	499,942,400	3,600	0	499,946,000
定期預金(指定正味)	3,419,429	0	0	3,419,429
定期預金(債券アンダーパー取得分)	69,000	0	0	69,000
小 計	503,430,829	3,600	0	503,434,429
特定資産				
投資有価証券	300,000,000	50,000,000	0	350,000,000
定期預金(指定正味)	93,368,596	0	50,000,000	43,368,596
小 計	393,368,596	50,000,000	50,000,000	393,368,596
合 計	896,799,425	50,003,600	50,000,000	896,803,025

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	499,946,000	499,946,000	0	0
定期預金(指定正味)	3,419,429	3,419,429	0	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	69,000	69,000	0	0
小 計	503,434,429	503,434,429	0	0
特定資産				
投資有価証券	350,000,000	349,689,225	310,775	0
定期預金(指定正味)	43,368,596	43,368,596	0	0
小 計	393,368,596	393,057,821	310,775	0
合 計	896,803,025	896,492,250	310,775	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	3,023,405	1,051,891	1,971,514
什器備品(地図用展示台)	544,500	102,093	442,407
什器備品(美術品)	3,010,000	0	3,010,000
モニュメント(美術品)	17,000,000	0	17,000,000
保証金	11,990	0	11,990
合 計	23,589,895	1,153,984	22,435,911

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表記載区分
佐野市出捐金(補助金)	佐野市	503,430,829	3,600	0	503,434,429	指定正味
佐野市出捐金(寄附金)	佐野市	393,057,821	0	0	393,057,821	指定正味
合 計		896,488,650	3,600	0	896,492,250	

(注) 原資は、市補助金500,000,000円(平成5年度～14年度まで毎年5千万円×10年)、民間寄附金393,556,000円(平成6年度～21年度まで、13,823件)であるが、市に一時繰り入れたことにより、貸借対照表等の科目では「市寄付金」としている。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(注) 当財団にて購入・運用している債券の帳簿価額は、満期時に債券額面による償還を受けることを予定している(満期保有目的の債券である)ことから、会計処理上、取得価額ではなく償却原価法(定額法)に基づく価額で表示している。また、表の「評価損益」とは、期末時点(令和8年3月31日時点)の償却原価法にもとづく帳簿価額と時価との差額であり、満期時に額面による償還を受ける場合に見込まれる損益を示すものではない。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①第7回大阪府公募公債	100,000,000	91,611,000	△ 8,389,000
②東日本旅客鉄道第165回無担保普通社債	99,946,000	68,430,000	△ 31,516,000
③東京電力パワーグリッド第57回社債	100,000,000	91,530,000	△ 8,470,000
④東京電力パワーグリッド第67回社債	100,000,000	79,613,800	△ 20,386,200
⑤第313回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	73,216,800	△ 26,783,200
⑥中国電力第1回利払繰延条項付無担保社債	100,000,000	88,920,000	△ 11,080,000
⑦東京電力パワーグリッド第50回社債	100,000,000	90,238,700	△ 9,761,300
⑧東京電力パワーグリッド第51回社債	100,000,000	78,310,000	△ 21,690,000
⑨バークレイズバンク20300626円建コーラブル債	25,000,000	23,965,000	△ 1,035,000
⑩バークレイズバンク20280725円建コーラブル債	25,000,000	24,430,000	△ 570,000
合 計	849,946,000	710,265,300	△ 139,680,700

(参考)

公益目的事業用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①第7回大阪府公募公債	100,000,000	91,611,000	△ 8,389,000
②東日本旅客鉄道第165回無担保普通社債	99,946,000	68,430,000	△ 31,516,000
③東京電力パワーグリッド第57回社債	100,000,000	91,530,000	△ 8,470,000
④東京電力パワーグリッド第67回社債	100,000,000	79,613,800	△ 20,386,200
⑤第313回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	73,216,800	△ 26,783,200
合 計	499,946,000	404,401,600	△ 95,544,400

(参考)

法人会計用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
⑥中国電力第1回利払繰延条項付無担保社債	100,000,000	88,920,000	△ 11,080,000
⑦東京電力パワーグリッド第50回社債	100,000,000	90,238,700	△ 9,761,300
⑧東京電力パワーグリッド第51回社債	100,000,000	78,310,000	△ 21,690,000
⑨バークレイズバンク20300626円建コーラブル債	25,000,000	23,965,000	△ 1,035,000
⑩バークレイズバンク20280725円建コーラブル債	25,000,000	24,430,000	△ 570,000
合 計	350,000,000	305,863,700	△ 44,136,300

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	6,280,913
特定資産受取利息	3,239,289
合 計	9,520,202

(注)債券及び定期預金運用益による利息である。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

該当なし。

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	預金	普通預金 足利銀行佐野支店	運転資金	9,850,019	
	貯蔵品		頒布用図録在庫	663,334	
流動資産合計				10,513,353	
(固定資産)	1. 基本財産	公益目的保有財産			
		基本財産 (定期預金)	佐野信用金庫本店	3,419,429	
			栃木銀行佐野支店(東日本旅客鉄道債権アンダーパー取得差額)	69,000	
		(投資有価証券)	第7回大阪府公募公債	100,000,000	
			東日本旅客鉄道(株)第165回無担保普通社債(アンダーパー)	99,946,000	
			東京電力パワーグリッド第57回社債	100,000,000	
			東京電力パワーグリッド第67回社債	100,000,000	
			第313回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	
	基本財産合計		503,434,429		
	2. 特定資産	特定資産 (定期預金)	管理運営財産	足利銀行佐野支店(指定)	30,868,596
				佐野信用金庫本店(指定)	2,500,000
		佐野農業協同組合本店(指定)		10,000,000	
		(投資有価証券)	中国電力第1回利払繰延条項・期限前償還付劣後債	100,000,000	
			東京電力パワーグリッド第50回社債	100,000,000	
			東京電力パワーグリッド第51回社債	100,000,000	
			パークレイズバンク20300626円建コーラブル債	25,000,000	
			パークレイズバンク20280725円建コーラブル債	25,000,000	
	特定資産合計		393,368,596		
	3. その他固定資産	車両運搬具	スバルインプレッサ	(共用財産)	1,971,514
				うち公益目的保有財産52.3%	(1,031,102)
		うち法人の管理運営の用に供する財産47.7%		(940,412)	
什器備品		地図用展示台	公益目的保有財産であり公3事業に使用している	442,407	
什器備品		美術品	公益目的保有財産であり公1事業に使用している	3,010,000	
モニュメント		美術品	公益目的保有財産であり公1事業に使用している	17,000,000	
保証金		車両リサイクル料	(共用財産)	11,990	
			うち公益目的保有財産52.3%	(6,271)	
うち法人の管理運営の用に供する財産47.7%	(5,719)				
その他固定資産合計		22,435,911			
固定資産合計				919,238,936	
資産合計				929,752,289	
(流動負債)	未払金		臨時職員給与(3月分) 等	735,560	
	未払消費税等		消費税	1,709,700	
	預り金		源泉所得税、住民税	464,612	
流動負債合計				2,909,872	
負債合計				2,909,872	
正味財産				926,842,417	

監査報告書

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
理事長 菊池 宏行 様

令和8年5月1日

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
監事 成瀬 正彦 ⑩

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
監事 篠原 偉治 ⑩

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び正味財産の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。